

量子科学技術委員会における第11期の活動について  
(案)

令和3年〇月〇日  
研究計画・評価分科会  
量子科学技術委員会

○第6期科学技術・イノベーション基本計画に対応する取組について

(1) 各部会・委員会に関する研究及び開発等に関するもの

量子科学技術分野では、令和2年1月に、統合イノベーション戦略推進会議の下、初の国家戦略となる「量子技術イノベーション戦略」が策定され、その着実な推進が求められている。

本戦略を踏まえた今後の取組については、産学の有識者と政府関係者による「量子技術イノベーション会議」を中心に検討されることとなり、現在、主要技術領域等への研究開発ファンディングの強化や国立研究開発機関及び大学からなる「量子技術イノベーション拠点」の整備等が進められている。

これらの動向も踏まえ、今期の量子科学技術委員会においては、主に以下の点について検討する。

<量子科学技術委員会>

- 「量子技術イノベーション戦略」を踏まえ、文部科学省として、今後重点的に取り組むべき事項について
  - ・量子技術イノベーション拠点の推進方策
  - ・量子技術を担う若手研究者の養成や、量子技術を使いこなす高い知識技能を持った量子ネイティブの育成方策
  - ・量子分野における国際連携の促進方策
- 次世代計算基盤を見据えた量子コンピュータの将来像について
- 地方大学、私立大学等の特色を活かした多様な取組の推進、量子人材の裾野拡大について

等

<量子ビーム小委員会関連>

- 「我が国全体を俯瞰した量子ビーム施設の在り方について」(2021年2月)を踏まえた今後の推進方策について
- 次世代放射光施設の整備状況及び運用に向けた検討について(共用の在り方含む)

(2) 自然科学の「知」と人文・社会科学の「知」の融合である「総合知」の創出・活用に向けたもの

自然科学の「知」と人文・社会科学の「知」の融合である「総合知」の創出・活用については、「量子技術イノベーション戦略」に基づく政府全体の取組の進捗状況等も踏まえ、本委員会においても適宜検討する。

○今後、分科会で議論することを期待する論点について

( (記載注) なくても構わない)